

添付資料 2

- ②薄片試料作製位置の一部誤り等の不適合(第1126回審査会合にて説明)の是正処置を講じた結果について

- 第1126回審査会合(令和5年3月17日)において、H27-B-1深度74.36～74.50mの破砕部で作成した薄片試料が最新活動面で作製されていないことをご説明した。合わせて、その時点におけるその他の薄片試料作製位置に係る水平展開の結果として、7箇所の誤りを確認したことを説明した。
- その後、その他の全ての薄片試料作製位置について確認した結果、さらに3箇所の誤りを確認した。
- これらに対して不適合管理を実施し、原因究明、是正処置を立案及び実施した。
(→「コメント回答資料1 不適合関連」の「2.」参照)
- 是正処置を踏まえた作業手順で発見した誤記修正等を含めた合計46箇所について、変更、副次的変更、修正に分類した。次頁以降に一覧を示す。
- なお、H27-B-1孔深度74.36～74.50mの破砕部の最新活動面については、今回補正書に反映した最新活動面認定方法の見直しにより、最新活動面が変更となっている。(添付資料3の「最-23」(添3-87頁)参照)

K断層の連続性評価に関するデータ:トレーサビリティの確保に伴う変更箇所等一覧表(薄片試料作製位置の一部誤り等の不適合関連)

No.	対象破砕部			変更, 修正前の資料		変更, 修正の内容		変更, 修正理由	分類	エビデンス資料	記載頁
	確認箇所	上端深度	下端深度	性状一覧表 (第833回審査会合資料机上配布資料2)	薄片観察結果 (第833回審査会合資料机上配布資料1)	前	後				
1126-0	H27-B-1	74.36	74.50	●	●	薄片試料を再作製し, 正しい最新活動面に着目した薄片試料の観察結果の反映		最新活動面認定方法の見直しに伴い, 最新活動面を変更した。詳細については添付資料3参照	変更	-	添3 - 87
1126-1	H24-A-11	10.20	12.76	●	●	ブロックサンプル写真上の最新活動面を示す矢印の位置の修正		ブロックサンプル上に示している最新活動面の位置がずれていたことから修正した。 なお, 当該破砕部については, 見直した最新活動面認定方法においても同一のせん断面を最新活動面としている。	修正	薄片観察結果	添2 - 8
1126-2	H24-A-11	10.20	12.76	●	●	薄片試料作製位置を示す赤枠の修正		ブロックサンプル上に示している薄片試料作製範囲が実物とあっていないことから修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 8
1126-3	H27-F-5	11.02	11.63	●	●	最新活動面を示す矢印の位置の修正		コア写真上に示している薄片試料作製範囲が実物とあっていないことから修正した。	修正	最新活動面確認結果	添2 - 9
1126-4	H24-D1-1	93.12	93.24	●	●	薄片試料作製位置を示す赤枠の修正		ブロックサンプル上に示している薄片試料作製範囲が実物とあっていないことから修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 10
1126-5-1	H27-B-2	152.10	152.15	●	●	再作製した薄片試料の観察結果の反映		従前提示していた薄片試料が, 最新活動面を対象に作製されていないことを確認したため, 再作製した薄片試料の観察結果に変更した。	変更	薄片観察結果	添2 - 11
1126-5-2	H27-B-2	152.10	152.15	●	●	変位センス 右ずれを伴う正断層	変位センス 左ずれを伴う逆断層	再作製した薄片試料を観察した結果, 変位センスを「右ずれを伴うう正断層」から「左ずれを伴う逆断層」に変更した。	副次的変更 (No.1126-5-1に伴うもの)	薄片観察結果	添2 - 11
1126-6	H24-B14-2	47.37	47.40	●	●	ブロックサンプル及び薄片試料全景写真上の最新活動面を示す矢印の位置の変更		ブロックサンプル及び薄片試料全景写真上に最新活動面でないせん断面を最新活動面としていたことから, 認定していた最新活動面に変更した。 なお, 見直した最新活動面認定方法についても, 同一のせん断面を最新活動面であった。	変更	薄片観察結果	添2 - 17
1126-7	H24-B14-2	47.37	47.40	●	●	正しい最新活動面に着目した薄片試料の観察結果の反映		正しいせん断面沿いのゾーンを再観察した結果に変更した。なお, 再観察の結果従前のデータと同じ結果を得た。	副次的変更 (No.1126-6に伴うもの)	薄片観察結果	添2 - 17
1126-追1	H24-H-4	3.87		●	●	走向・傾斜 N48W58W	走向・傾斜 N48W58SW	明確にした手順に従い, BHTV画像で取得した値であるN48W58SWに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 21
1126-追2	H24-H-13	8.89	9.80	●	●	破砕帯範囲を示す矢印等の位置の修正		破砕部上端側の破砕帯範囲を示す矢印, 断層ガウジの範囲を示すカラーバー, 最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	破砕幅計測結果	添2 - 22
1126-追3	H27-G-1	6.48	7.24	●	●	最新活動面を示す矢印の位置の修正		最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	最新活動面確認結果	添2 - 23
1126-追4	H27-G-2	5.40	6.40	●	●	最新活動面を示す矢印の位置の修正		最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	最新活動面確認結果	添2 - 24
1126-追5	H24-H-9-1	10.43	11.00	●	●	最新活動面を示す矢印等の位置の修正		断層ガウジの範囲を示すカラーバー, 最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	最新活動面確認結果	添2 - 25
1126-追6	H24-H-14	4.93	7.81			令和3年7月16日提出資料における拡大写真範囲を示す青枠の修正		図2の拡大範囲を示す位置がずれていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 26

K断層の連続性評価に関するデータトレーサビリティの確保に伴う変更箇所等一覧表(薄片試料作製位置の一部誤り等の不適合関連)

No.	対象破砕部			変更, 修正前の資料		変更, 修正の内容		変更, 修正理由	分類	エビデンス資料	記載頁
	確認箇所	上端深度	下端深度	性状一覧表 (第833回審査会合資料机上配布資料2)	薄片観察結果 (第833回審査会合資料机上配布資料1)	前	後				
1126-追7	H24-D1-1	49.20	49.91		●	全景写真上の断層岩区分境界の修正		薄片観察結果資料の断層岩区分の境界位置が記録とずれていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 27
1126-追8	H27-B-1	42.41	42.49			第1099回審査会合資料の薄片観察資料における写真の向き誤りの修正		図1, 図2の拡大写真の掲載方向が誤っていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 28
1126-追9	H27-B-1	45.36	45.39		●	薄片写真拡大部の縮尺の修正		薄片試料の拡大写真の縮尺が実尺とあっていないため修正した。 (複合面構造確認箇所及び令和3年7月16日提出資料の図4)	修正	薄片観察結果	添2 - 29
1126-追10	H27-B-1	47.40	47.51		●	ブロックサンプル上に示している最新活動面の位置の修正		ブロックサンプル上に示している最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 31
1126-追11	H27-B-1	49.17	49.22	●	●	走向・傾斜 N47E45W	走向・傾斜 N47E45NW	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN47E45NWに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 32
1126-追12	H27-B-1	85.38	85.41	●		断層ガウジの幅 フィルム状	断層ガウジの幅 0.2cm	コアの再観察の結果、フィルム状と記載していた断層ガウジの幅が0.2cmであったことから数値で記載することとし、断層ガウジの幅の記載を「フィルム状」から「0.2cm」に変更した。	変更	断層ガウジ・断層角礫の幅計測結果	添2 - 34
1126-追13	H27-B-1	118.94	119.12		●	ブロックサンプルの縮尺の修正		ブロックサンプルの縮尺が実尺とあっていないため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 37
1126-追14	H27-B-2	48.08	48.12			変位センス 右ずれ	変位センス 左ずれ	観察結果によると変位センスは左ずれとなるが、右ずれと記載していたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 38
1126-追15	H27-B-2	48.08	48.12			(カタレーサイト) 岩片の粒径は漸移的に変化する。	記載削除	記載している特徴は確認できるが、薄片観察での着眼点に含めていないため削除した。	修正	薄片観察結果	添2 - 38
1126-追16	H27-B-2	61.29	61.69	●		最新活動面を示す矢印の位置の修正		最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	最新活動面確認結果	添2 - 40
1126-追17	H27-B-2	63.75	63.85	●		走向・傾斜 N47W24E	走向・傾斜 N47W24NE	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN47W24NEに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 41
1126-追18	H27-B-2	88.88	88.94	●	●	走向・傾斜 N35E72W	走向・傾斜 N35E72NW	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN35E72NWに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 42
1126-追19	H27-B-2	120.63	120.65			令和3年7月16日提出の薄片観察資料における写真の向き誤りの修正		図3及び図4の拡大写真の掲載方向が誤っていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 44
1126-追20	H27-B-2	134.15	134.23			令和3年7月16日提出資料における拡大写真範囲を示す青枠及び緑枠の修正		図2の拡大写真の場所を示す枠がずれていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 45

K断層の連続性評価に関するデータ信頼性の確保に伴う変更箇所等一覧表(薄片試料作製位置の一部誤り等の不適合関連)

No.	対象破砕部			変更, 修正前の資料		変更, 修正の内容		変更, 修正理由	分類	エビデンス資料	記載頁
	確認箇所	上端深度	下端深度	性状一覧表 (第833回審査会合資料机上配布資料2)	薄片観察結果 (第833回審査会合資料机上配布資料1)	前	後				
1126-追21	H27-B-2	154.53	154.71	●	●	走向・傾斜 N42E75E	走向・傾斜 N42E75SE	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN42E75SEに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 47
1126-追22	H24-B14-2	38.10	38.27	●	●	走向・傾斜 N58E88S	走向・傾斜 N58E88SE	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN58E88SEに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 49
1126-追23	H24-B14-2	38.10	38.27			令和3年7月16日提出の薄片観察資料における写真の向き誤りの修正		拡大写真の掲載方向が誤っていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 51
1126-追24	H24-B14-2	49.24	49.55			第1099回審査会合資料1-4における拡大写真範囲を示す青枠の修正		図3の拡大写真の場所を示す枠がずれていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 52
1126-追25	H24-D1-3	14.41	14.52	●		最新活動面を示す矢印の位置の修正		最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	最新活動面確認結果	添2 - 53
1126-追26	H24-D1-4	27.75	28.43		●	ブロックサンプル上に示している薄片試料作製範囲の位置の修正		ブロックサンプル上に示している最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 54
1126-追27	H24-D1-4	60.06	60.38		●	薄片試料のX方向の変更		薄片観察時にX方向を誤っていたため、正しい方向での観察結果に変更する。なお、資料上では写真を上下反転させている。	変更	薄片観察結果	添2 - 55
1126-追28	H24-D1-4	60.06	60.38	●	●	変位センス 右ずれ	変位センス 左ずれ	No.1126-追27の変更に伴いX方向が従前提示していたデータと逆向きになり、上盤と下盤が入れ替わることから、変位センスは左ずれセンスに変更となる。	副次的変更 (No.1126-追27に伴うもの)	薄片観察結果	添2 - 55
1126-追29	H27-B-3	29.10	29.12	●	●	走向・傾斜 N31E51W	走向・傾斜 N31E51NW	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN31E51NWに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 61
1126-追30	H27-B-3	59.69	59.75	●	●	走向・傾斜 N37E48W	走向・傾斜 N37E48NW	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN37E48NWに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 63
1126-追31	H27-B-3	115.00	115.12	●		走向・傾斜 N36E87W	走向・傾斜 N36E87NW	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN36E87NWに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 65
1126-追32	H27-B-4	48.39	48.43	●	●	走向・傾斜 N48E78E	走向・傾斜 N48E78SE	明確にした手順に従い、BHTV画像で取得した値であるN48E78SEに修正した。	修正	走向・傾斜確認結果	添2 - 66
1126-追33	H27-B-4	48.39	48.43			令和3年7月16日提出資料における拡大写真範囲を示す青枠の修正		拡大写真の場所を示す枠がずれていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 68
1126-追34	H27-B-4	64.65	64.91		●	ブロックサンプル上に示している最新活動面の誤記の修正		ブロックサンプル上に示している最新活動面を示す矢印がずれていたため修正した。	修正	薄片観察結果	添2 - 69
1126-追35	H24-D1-5	8.51	8.71	●		破砕部の範囲を示す矢印の修正 (833回も7/16提出資料も同じなので833回を記載)		コア写真上で破砕部の範囲を示す矢印の位置がずれていたため修正した。	修正	破砕幅計測結果	添2 - 70
1126-追36	ふげん道路ピット東法面 中段					層理面の走向・傾斜 ⑨b: N77° W2° S	層理面の走向・傾斜 ⑨b: N77° E2° S	1099回審査会合資料で提示したふげん道路ピット東法面中段スケッチ記事に記載している⑨層理面の走向・傾斜について、スケッチ原因の記時欄と記載に齟齬があるため修正した。	修正	スケッチ※ 露頭写真	添2 - 71
1126-追37	ふげん道路ピット東法面 中段					層理面の走向・傾斜 ⑩b: N47° E21° SE	層理面の走向・傾斜 ⑩b: N47° W21° SE	1099回審査会合資料で提示したふげん道路ピット東法面中段スケッチ記事に記載している⑩層理面の走向・傾斜について、スケッチ原因の記時欄と記載に齟齬があるため修正した。	修正	スケッチ※ 露頭写真	添2 - 71

1. 変更内容、理由及び断層連続性評価への影響

・再作製した薄片試料の観察結果の反映 (No.1126-0)

【理由】研磨片の残試料を組み合わせたところ、薄片試料が最新活動面で作成されておらず、薄片試料の再作製、再観察を実施した。

【断層連続性評価への影響】なし

2. 変更箇所

a 薄片試料の再作製、観察資料の変更 (No.1126-0)

H27-B-1 深度74.36~74.50m 再作製した薄片試料の観察結果 (No.1126-0) の反映

従前

見直し後

第1099回審査会合

資料1-4

調査データのトレーサビリティの確認結果

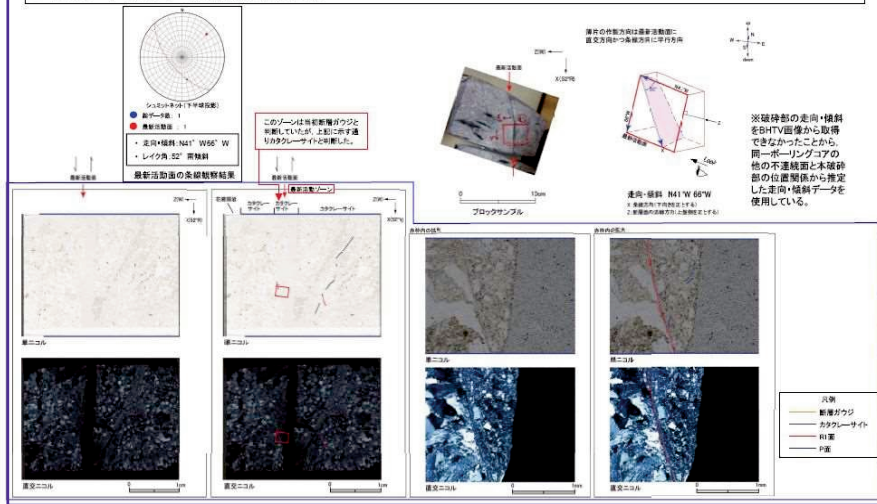
(その他の調査データの変更箇所と元となるデータ一式)

4-75頁

第1099回審査会合 資料1-4に追記(青太枠)

H27-B-1 深度74.36~74.50m (1/2) 青枠：変位センスに関する部分 47のエビデンス(変位センス) (1/2)

H27-B-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面(深度74.40m)の変位センスは、左ずれを伴う正断層成分が卓越する。
 ・断層岩区分については、最新活動ゾーンは周辺のカタクレーサイトのゾーンより細粒であり、局所的ではあるが幅6mm程度の範囲で粘土鉱物が若干認められることから、断層ガウジと判断していた。
 ・最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破砕部であると判断した。
 > (カタクレーサイト) 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
 > (カタクレーサイト) 最新活動面に沿った帯状の粘土状部は局所的である。
 > (カタクレーサイト) 角ばった岩片が多い。
 > (カタクレーサイト) ジグソー状の角礫群が認められる。

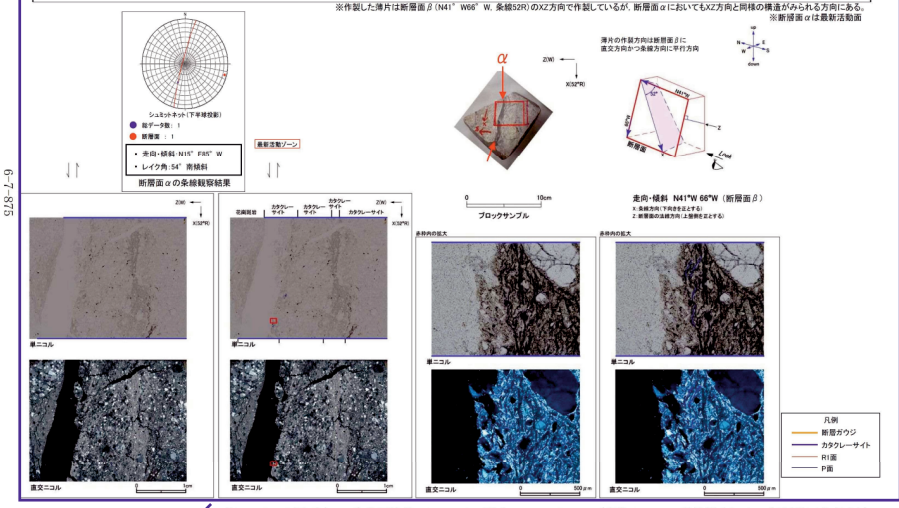


4-75

No.1126-0

(薄片試料の再作製、薄片観察)

H27-B-1のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、左ずれを伴う正断層である。
 ・最新活動のゾーンに以下の特徴が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破砕部であると判断した。
 > (カタクレーサイト) 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
 > (カタクレーサイト) 断層面に沿った帯状の粘土状部は周囲と漸移的に変化する。
 > (カタクレーサイト) 多様な粒径の岩片が多く認められる。
 > (カタクレーサイト) 角ばった岩片が多い。
 > (カタクレーサイト) 岩片の粒界を横断する破断面が認められる。
 > (カタクレーサイト) ジグソー状の角礫群が認められる。



第7.4.4.273図(3) 破砕部性状 H27-B-1 深度74.36~74.50m (変位センス, 薄片観察による断層岩区分(1/2))

No.1126-0

(薄片試料の再作製、薄片観察結果の反映)

変更内容は別資料で説明

H24-A-11 深度10.20～12.76m 最新活動面を示す矢印（No.1126-1）の位置の修正、薄片試料作製位置（No.1126-2）を示す赤枠の修正

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料 1

敦賀発電所 2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

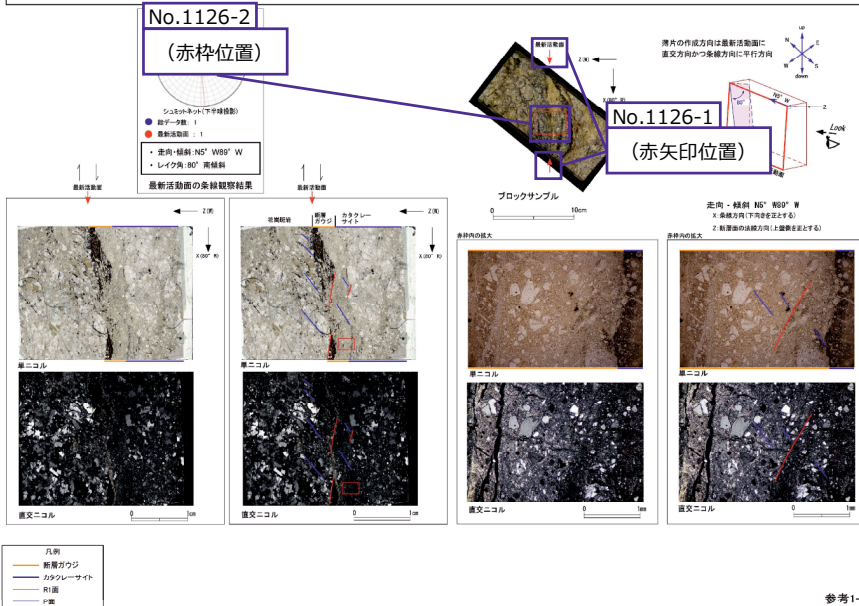
参考資料 1 薄片観察結果

参考1-48頁

第833回審査会合 机上配布資料1に追加(青太枠)

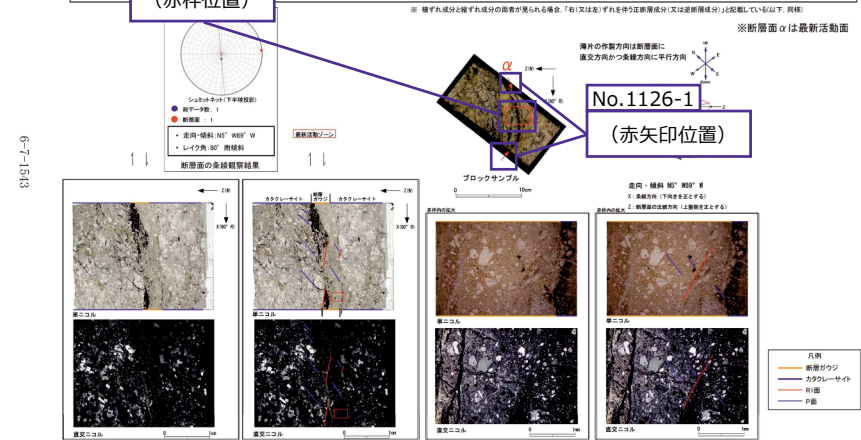
K断層 薄片試料観察(H24-A-11 深度11.81m)

H24-A-11のボーリングコア(深度11.81m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位センスは、逆断層成分が卓越する。



参考1-48

H24-A-11のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、逆断層成分が卓越する。
 ・最新活動ゾーンには、断層ガウジとカタクレーサイトの特徴が認められるが、カタクレーサイトの特徴は、カタクレーサイトに折り込まれたものと考えられることから断層ガウジと判断した。
 ・(断層ガウジ)せん断構造に伴う粘土鉱物の定向配列が認められる。
 ・(断層ガウジ)基質は粘土鉱物を主体とする。
 ・(断層成分)は粘土鉱物の心部は帯状で直線的である。
 ・岩片は、帯状で直線的である。
 ・(カタクレーサイト)が認められる。



第7.4.4.40.1図 (7) K断層 破砕部性状 H24-A-11 深度10.20～12.76m (変位センス、薄片観察による断層区分(1/3))

H27-F-5 深度11.02~11.63m 最新活動面を示す矢印の位置 (No.1126-3) の修正

従前

見直し後

第833回審査会合
机上配布資料2
敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について
参考資料2 性状一覧表
参考2-51頁

第833回審査会合 参考資料2に追記(青太枠)

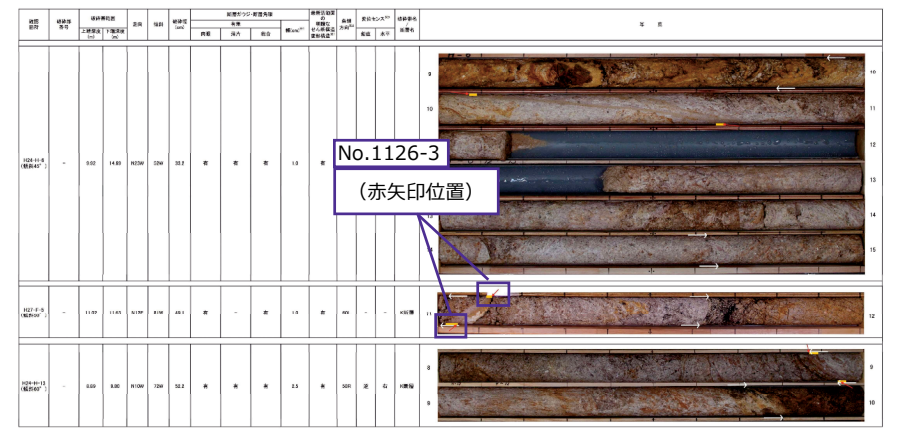
3. K断層
性状一覧表(9/12)



凡例
最新活動面 ← → 破砕帯
断層カワジ 断層角張

【取付機】
掘削機、破砕機、有線状破砕機、
掘削した粘土状破砕物、掘削した砂状破砕物、
掘削した角礫状破砕物の
方位の幅とし、破砕物の方位線から真の層に調査した。
【参考】
本 簿 最新活動面が連続的なもの
が標準 最新活動面が不連続的なもの

参考2-51



凡例
最新活動面 ← → 破砕帯
断層カワジ 断層角張

※1 断層帯区分の総合評価に基づき記載し、尚「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
※2 斜めボーリングの場合は、計測値を補正した値を記載
※3 卓越しない成分については「-」を記載(而成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
-(上記以外): データを取得していない箇所

第7.4.4.111図(8) 破砕帯性状一覧(K断層)

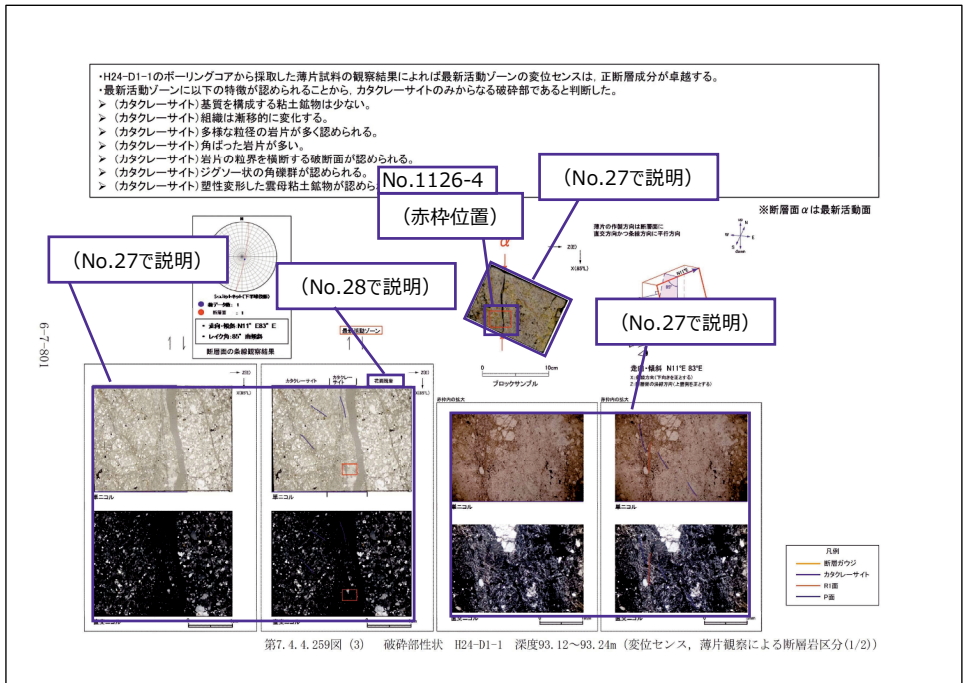
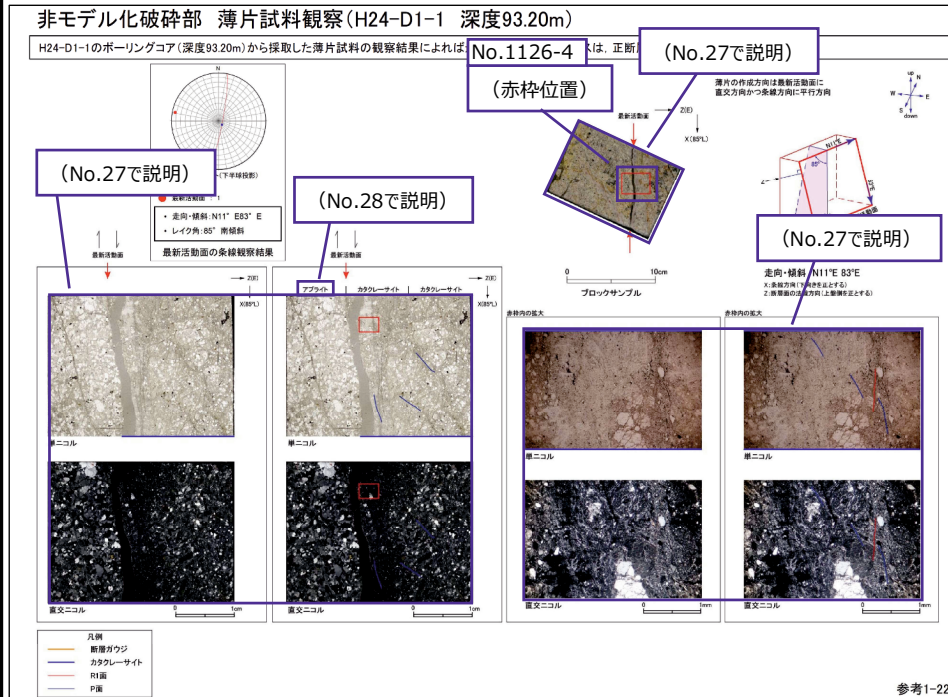
H24-D1-1 深度93.12~93.24m 薄片試料作製位置を示す赤枠位置 (No.1126-4) を修正

従前

見直し後

第833回審査会合
机上配布資料1
敦賀発電所2号炉敷地の地形、地質・地質構造について
参考資料1 薄片観察結果
参考1-220頁

第833回審査会合 机上配布資料1に追記(青太枠)



1. 変更内容、理由及び断層連続性評価への影響

・再作製した薄片試料の観察結果の反映 (No.1126-5-1)

【理由】薄片試料作製に係る記録と条線観察記録における最新活動面の比較を行ったところ、従前提示していた薄片試料が最新活動面を対象に作製されていないことを確認したため、再作製した薄片試料の観察結果に変更する。

・変位センスを右ずれを伴う正断層から左ずれを伴う逆断層に変更 (No.1126-5-2)

【理由】再作製した薄片試料の観察結果に変更する。

【断層連続性評価への影響】 なし

2. 変更箇所

- a 断層ガウジ幅を総合評価無し「-」に変更 (No.1126-5-1)
- b 最新活動面の明瞭なせん断構造変形構造を総合評価無し「-」に変更 (No.1126-5-1)
- c 変位センスを「逆 左」に変更 (No.1126-5-2)
- d 変位センスの記載を「左ずれを伴う逆断層成分が卓越する」に変更 (No.1126-5-2)
- e 薄片試料の再作製、観察資料の変更 (No.1126-5-1)

H27-B-2 深度152.10~152.15m 再作製した薄片試料の観察結果 (No.1126-5-1) の変更
変位センス (No.1126-5-2) の変更

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料2

敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

参考資料2 性状一覧表

参考2-169頁

第833回審査会合 机上配布資料2に追記(青太枠)

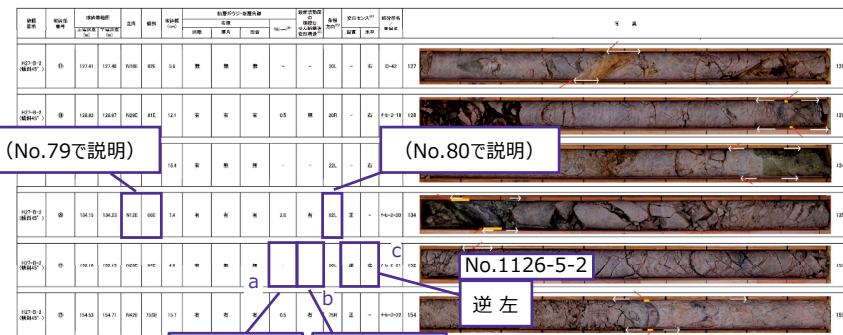
14H-1-f-b-4-6破砕帯
性状一覧表(13/13)



凡例
最新活動面 ← → 破砕帯
新層分ラジ 新層角柱
粘土の異動が認められる箇所 ※ 断面
2 破砕帯

【破砕帯】
粘土破砕帯、砂状破砕帯、角柱状破砕帯、
間隙した粘土状破砕帯、間隙した砂状破砕帯、間隙した角柱状破砕帯
の存在を確認し、破砕帯の長短・幅・角柱の向きを記載した。
【中層部】
※ 新層活動面が連続しているもの
※ 新層活動面が連続しているもの
※ 新層活動面が連続しているもの

参考2-169



凡例
最新活動面 ← → 破砕帯
新層分ラジ 新層角柱
カラーバーが付いていない区間はカタレーサイトを示す

※3 破砕帯の成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
-(上記以外)データを取っていない箇所

第7.4.4.414図(3) 破砕帯性状一覧 (H27-B-2)

6/7 15/91

H27-B-2 深度152.10~152.15m 再作製した薄片試料の観察結果 (No.1126-5-1) の変更
変位センス (No.1126-5-2) の変更

従前

見直し後

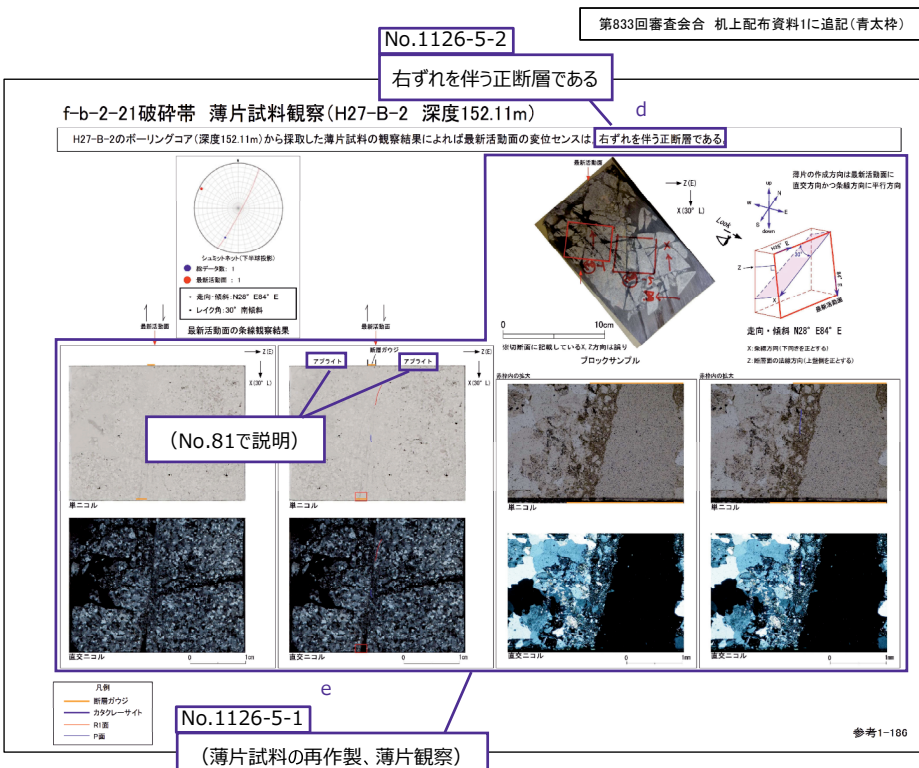
第 8 3 3 回審査会合

机上配布資料 1

敦賀発電所 2 号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

参考資料 1 薄片観察結果

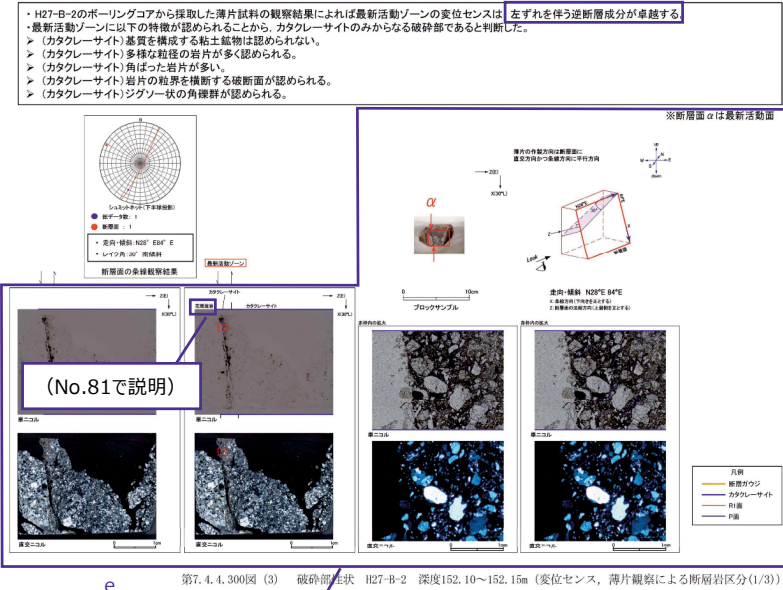
参考1-186頁



参考1-186

No.1126-5-2

左ずれを伴う逆断層成分が卓越する



No.1126-5-1

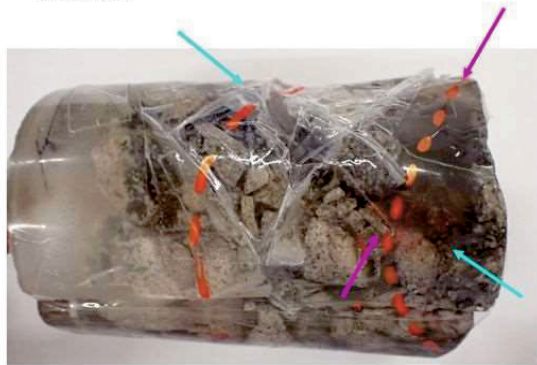
(薄片試料の再作製、薄片観察結果の反映)

H27-B-2 深度152.10~152.15m 再作製した薄片試料の観察結果 (No.1126-5-1) に変更

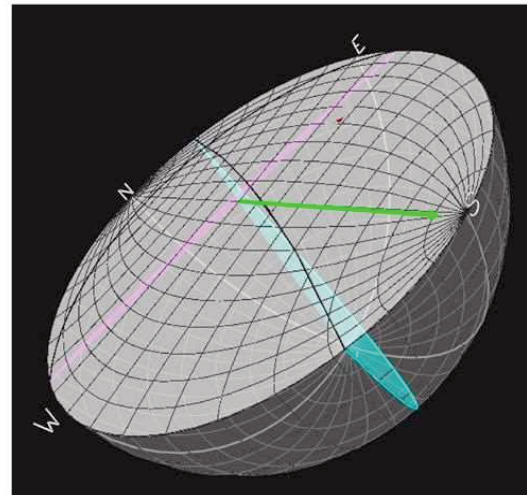
- 既存の薄片試料の作製位置を確認したところ、最新活動面でないせん断面で作製されていたことから再作製した薄片試料の観察結果に変更する。
- 再作製した薄片試料の作製箇所については、試料切断方向が正しい（最新活動面に直交で、かつ、条線方向に平行）ことを確認している。
- 右の図はボーリングの掘進方向、最新活動面、試料切断面の正しい位置関係を図にしたものである。正しい位置関係とは、「試料切断面は最新活動面に直交で、かつ、条線方向に平行」の条件を満たすものである。試料で再現した3つの位置関係が図と相違ないことから正しく切断されていると判断した。（条線は最新活動面上で確認されているため、本ページでは表現されていない。）

試料切断方向確認資料 (H27-B-2孔 深度152.11m)

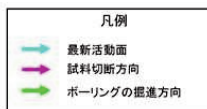
研磨片写真



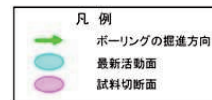
ボーリングの掘進方向、最新活動面、試料切断面の関係を3次的に示した図



ボーリング掘進方向および最新活動面位置、試料切断方向については、コア写真を利用してその位置が適切であることを確認した。



5cm



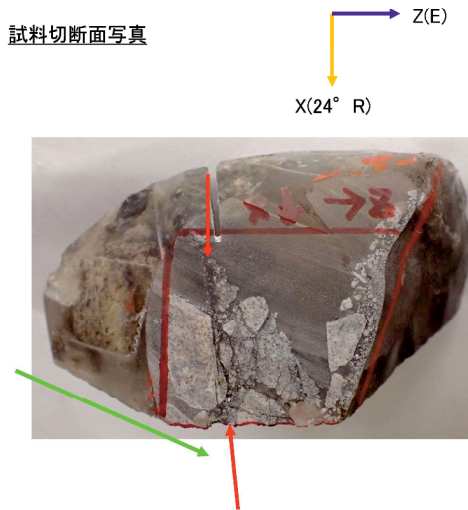
H27-B-2 深度152.10~152.15m 再作製した薄片試料の観察結果 (No.1126-5-1) に変更

- 再作製した薄片試料の作製箇所について、試料の切断方向を確認し、下記の試料切断面写真に示したZ方向、X方向が正しいことを確認した。
- 右の図はボーリングの掘進方向、最新活動面、試料切断面、X方向、Z方向の正しい位置関係を図にしたものである。正しい位置関係とは、「試料切断面は最新活動面に直交で、かつ、条線方向に平行」の条件を満たすものである。試料で再現した5つの位置関係が図と相違ないことから正しく切断されていると判断した。

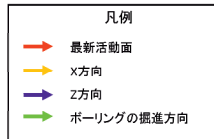
試料切断面方向確認資料 (H27-B-2孔 深度152.11m)

薄片作製位置は、肉眼観察により認定した最新活動面に沿って最も細粒化した部分を含み、試料の人為的な乱れのない箇所であることを確認した。

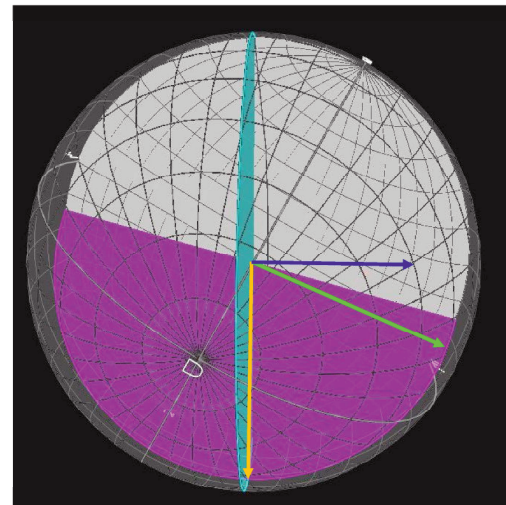
試料切断面写真



ボーリング掘進方向および最新活動面位置、試料切断方向については、コア写真を利用してその位置が適切であることを確認した。



ボーリングの掘進方向、最新活動面、試料切断面の関係を3次的に示した図



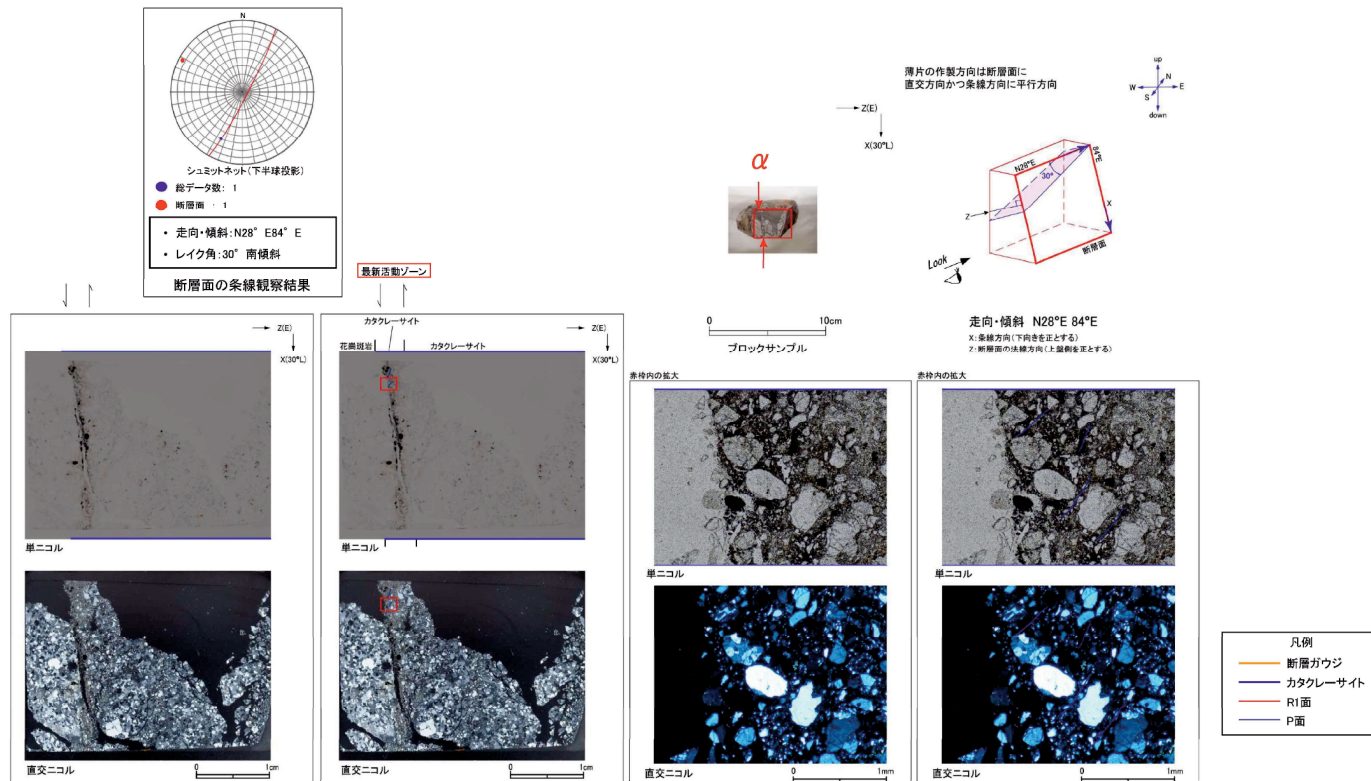
X: 条線方向(下向きを正とする)
Z: 断面の法線方向(上盤側を正とする)

H27-B-2 深度152.10~152.15m 再作製した薄片試料の観察結果 (No.1126-5-1) への変更に伴い、最新活動面の変位センス (No.1126-5-2)を変更

・従前提示していた「右ずれ正断層センス」は、最新活動面を対象に作製されていない薄片試料であることを確認したため、再作製した薄片試料の観察結果である「左ずれ逆断層センス」に変更となる。

H27-B-2 深度152.10~152.15m 薄片観察 変位センス, 薄片観察による断層岩区分(1/3)

- ・ H27-B-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動ゾーンの変位センスは、左ずれを伴う逆断層成分が卓越する。
- ・ 最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破碎部であると判断した。
 - (カタクレーサイト)基質を構成する粘土鉱物は認められない。
 - (カタクレーサイト)多様な粒径の岩片が多く認められる。
 - (カタクレーサイト)角ばった岩片が多い。
 - (カタクレーサイト)岩片の粒界を横断する破断面が認められる。
 - (カタクレーサイト)ジグソー状の角礫群が認められる。



1. 変更内容、理由及び断層連続性評価への影響

・最新活動面を示す矢印位置の変更 (No.1126-6)

【理由】 薄片試料作製に係る記録と条線観察記録における最新活動面の比較を行ったところ、薄片試料作製位置の記録に示している最新活動面位置を示す矢印の位置が間違っていることを確認したため、変更した。

・観察範囲の変更 (No.1126-7)

【理由】 従前提示している薄片観察結果は、薄片試料中の誤った最新活動面に着目して観察していたことから、正しい最新活動面に着目した観察した結果を反映した。

【断層連続性評価への影響】なし

2. 変更箇所

- a 最新活動面を示す赤矢印位置の変更 (No.1126-6)
- b 拡大写真の範囲を示す赤枠の変更 (No.1126-7)
- c 拡大写真の変更 (No.1126-7)

H24-B14-2 深度47.37~47.40m 最新活動面を示す矢印位置 (No.1126-6) の変更、それに伴う観察範囲 (No.1126-7) の変更

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料1

敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

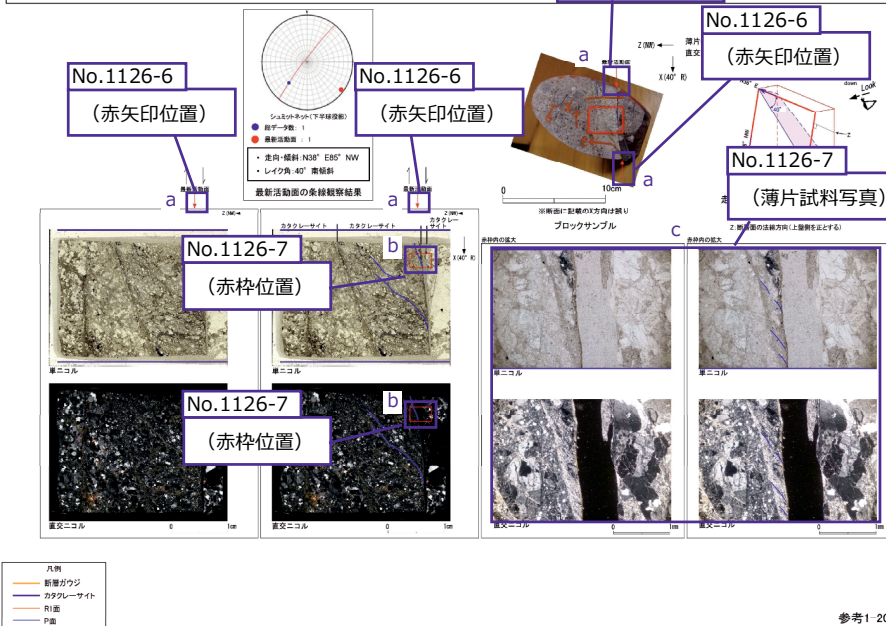
参考資料1 薄片観察結果

参考1-200頁

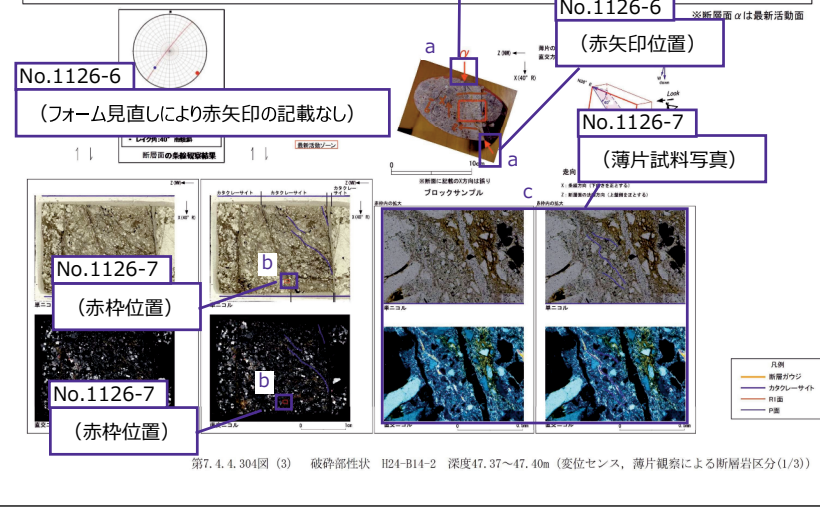
第833回審査会合 机上配布資料1に追記(青太枠)

非モデル化破砕帯 薄片試料観察(H24-B14-2 深度47.40m)

H24-B14-2のボーリングコア(深度47.40m)から採取した薄片試料の観察結果によれば最新活動面の変位セン



H24-B14-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば断層面α沿い最新活動ゾーンの変位センは、右ずれを伴う逆断層である。
 ・最新活動ゾーン以下の特徴が認められることから、カタクレースイトのみからなる破砕部であると判断した。
 > (カタクレースイト) 基質を構成する粘土鉱物は少ない。
 > (カタクレースイト) 断層面に沿った帯状の粘土状物は連続しない。
 > (カタクレースイト) 多様な粒径の岩片が多く認められる。
 > (カタクレースイト) 角ばった岩片が多い。
 > (カタクレースイト) ジグザグ状の角稜群が認められる。
 > (カタクレースイト) 塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。



第7.4.4.304図(3) 破砕部性状 H24-B14-2 深度47.37~47.40m (変位セン、薄片観察による断層区分(1/3))

H24-B14-2 深度47.37~47.40m 最新活動面を示す矢印位置 (No.1126-6) の変更、それに伴う観察範囲 (No.1126-7) の変更

• 下記の断層面 α が最新活動面であることを確認したことから、最新活動面の位置を変更した。

H24-B14-2 深度47.37~47.40m 薄片作製位置

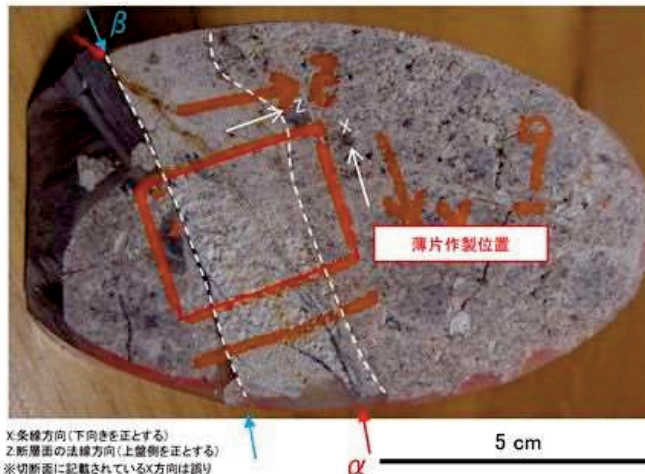
• 薄片は断層面 α 、 β 及び細粒化が進んだ範囲を含むように作製した。

コア写真



凡例
 ← → 破砕部範囲
 断層面
 ※:写真上は白色で記載

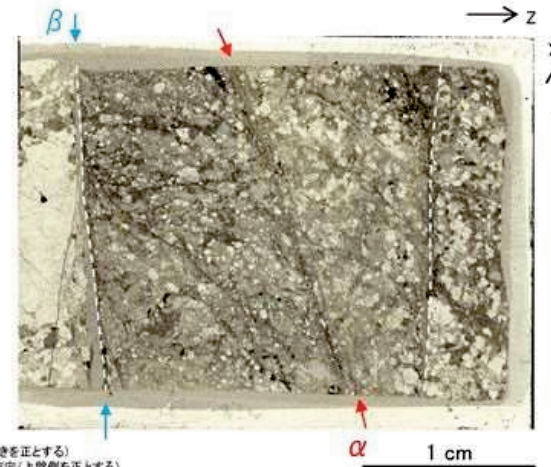
薄片作製位置写真



X:糸線方向(下向きを正とする)
 Z:断層面の法線方向(上壁側を正とする)
 ※:切断面に記載されているX方向は誤り

凡例
 断層面
 ----- 肉眼観察で相対的に細粒化が進んだ範囲
 ※:写真上は白色又は黒色で記載

薄片全景写真(単ニコル)



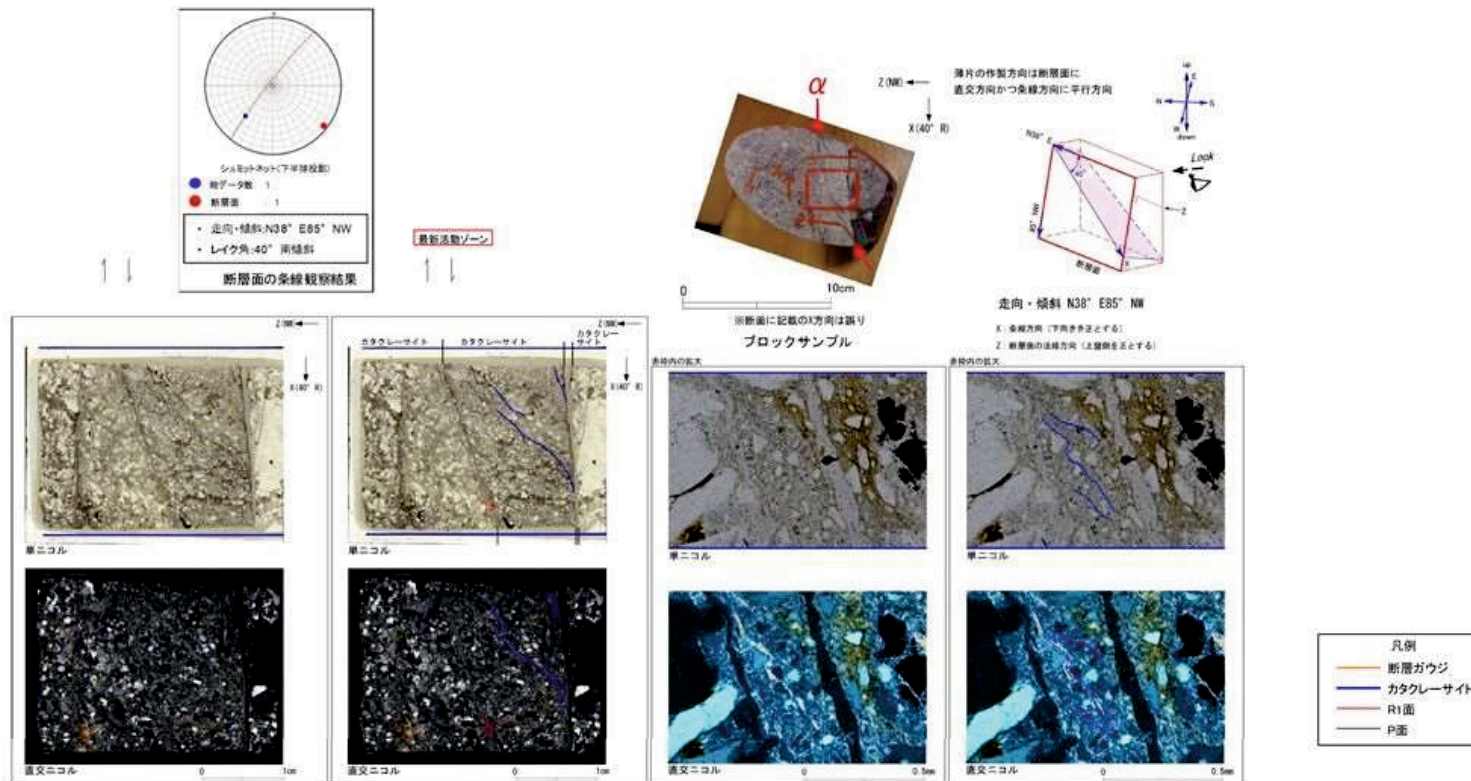
X:糸線方向(下向きを正とする)
 Z:断層面の法線方向(上壁側を正とする)

H24-B14-2 深度47.37~47.40m 最新活動面を示す矢印位置 (No.1126-6) の変更、それに伴い観察範囲 (No.1126-7) の変更

- 最新活動面とした断层面α沿いの最新活動ゾーンについて再観察を行った結果、変位センスは右ずれを伴う逆断層であり、従前のデータからの変更はない。

H24-B14-2 深度47.37~47.40m 薄片観察 変位センス、薄片観察による断層岩区分その1(1/3)

- ・H24-B14-2のボーリングコアから採取した薄片試料の観察結果によれば断层面α沿い最新活動ゾーンの変位センスは、右ずれを伴う逆断層である。
- ・最新活動ゾーンに以下の特徴が認められることから、カタクレーサイトのみからなる破砕部であると判断した。
 - (カタクレーサイト)基質を構成する粘土鉱物は少ない。
 - (カタクレーサイト)断層面に沿った帯状の粘土状部は連続しない。
 - (カタクレーサイト)多様な粒径の岩片が多く認められる。
 - (カタクレーサイト)角ばった岩片が多い。
 - (カタクレーサイト)ジグソー状の角礫群が認められる。
 - (カタクレーサイト)塑性変形した雲母粘土鉱物が認められる。



H24-H-4 深度3.87m 走向・傾斜の値 (No.1126-追1) を修正

従前

見直し後

第833回審査会合

机上配布資料2

敦賀発電所2号炉 敷地の地形、地質・地質構造について

参考資料2 性状一覧表

参考2-51頁

第833回審査会合 机上配布資料2に追記(青太枠)

3. K断層
性状一覧

No.1126-追1
N48W58W

深度(m)	層名	性状	色	硬さ	崩れ	割れ	剥離	その他	方位		備考
									走向	傾斜	
0.00	表層土	腐植土	黒褐色	軟弱	崩れ	割れ	剥離	その他	90	0	
0.24	表層土	(未測定)									
0.30	10層土	砂質粘土	黄褐色	軟弱	崩れ	割れ	剥離	その他	90	0	
1.02	10層土	砂質粘土	黄褐色	軟弱	崩れ	割れ	剥離	その他	90	0	

凡例
最新活動面 ← → : 破砕帯
断面ガウジ ○ : 最大の傾斜角が認められる箇所
※1 調査
※2 追加

【破砕帯】
層状破砕帯、砂状破砕帯、肉質破砕帯、固結した粘土状破砕帯、固結した砂状破砕帯、固結した角礫状破砕帯のいずれかとし、破砕帯の傾向傾斜から算出された。

参考2-51

深度(m)	層名	性状	色	硬さ	崩れ	割れ	剥離	その他	方位		備考
									走向	傾斜	
0.00	表層土	腐植土	黒褐色	軟弱	崩れ	割れ	剥離	その他	90	0	
0.30	10層土	砂質粘土	黄褐色	軟弱	崩れ	割れ	剥離	その他	90	0	
0.50	10層土	砂質粘土	黄褐色	軟弱	崩れ	割れ	剥離	その他	90	0	
0.87	10層土	砂質粘土	黄褐色	軟弱	崩れ	割れ	剥離	その他	90	0	
0.24	表層土	(未測定)									

No.1126-追1
N48W58W

凡例
最新活動面 ← → : 破砕帯
断面ガウジ ○ : カラーバーが付いていない区間はカタレーサイトを示す
※1 調査
※2 追加

※1 断層区分の総合評価に基づき記載し、肉眼「有」のうち総合評価「無」となる箇所は「-」を記載
※2 斜めボーリングの場合は、計測値を修正した値を記載
※3 確認しない成分については「-」を記載(両成分「-」は薄片観察を行っていない箇所)
(上記以外): データを取得していない箇所

第7.4.4.411図 (7) 破砕部性状一覧 (K断層)

6-7-1582